

萬年青通信



発行 田哲園 2020(令和3)年 1月 #6

〒381-0001 長野市赤沼188

TEL 026-251-3001

<https://omoto.net>

HPのQRコード



冬芽たりなげ春遠からじ

令和3年度、協会銘鑑 新登録3点紹介

令和3年の新登録は3種、いずれも当園が関係したもので、「天壇」以外は県内で作出された物です。品種詳細は近く発行される協会の会報に掲載されます。



雷晃(らいこう) 縞甲系

登録者 茂木二三夫 窪田光男
中島由美 田中悠介



叡聖の舞(えいせいのみい) 獅子系

登録者 若林真一 田中栄二
近藤敏仁 米谷耕司



天壇(てんだん) 羅紗系

登録者 小川健一 田中悠介

3才若木。
雅糸竜はまだまだ。
すでに割り子が2本。



割り子2才。
葉緑りが良い。

中小型で葉姿が引き締まり葉芸も上品。見分けがしやすく一目でわかるのも大きな長所。お値段も手頃です。欠点は割り子が出やすく、その分芋質が少し柔らかいかも知らない。

当園の 押し品種 小百合(さゆり)



昨年行われた第52回信州おもと美術展の会場風景

長野県支部では総会までに入賞品などを掲載したパンフレットを配布予定です。

大変に

ありがとうございます！
一昨年の台風19号での被災の折には、会員の皆様はじめ長野三光園様他本当に多くの方々のおかげで頂きました。お陰様で絶望から立ち直り何とか仕事を続けることが出来ました。心より感謝申し上げます。

左の写真のハウス内では作業中の皆様の頭の片まで泥水がかぶり、水が引いた後には細かい花泥がべったりおもとに被ってしまい芯まで詰まっています。それを丁寧に水で洗い流し水苔でプランターに詰めました。その後順次植え込んだの



ですが、新しい葉が繰り出すまでは病変のことなどかなり心配でした。

でも結果的には芋痛みは別として成長には特に問題はなかつたかと再生してくれました。春蘭も被災したのですが、こちらは根が傷んでしまえば駄目でした。すぐに泥落としをして頂いたお陰です。おもとの生命力は凄い物だとつくづく感心した次第です。「被災前より作がよいじゃねーかい」と冷やかす方もいて、もしかして泥水の中の肥料が効いたのかな、いろんな物が混ざっているし、等と冗談も言えるようになったことでした。

楽ちんな越冬方法!

厳しい寒波も峠が見えて、もう少しの我慢で春が来そうです。ちよつと遅かったかも知れませんが、寒い信州で暖房を使わないで冬越しをする方法です。当園のメイン温室ではネポンの温風ヒーターを使いますが、ビニールハウスではおもとを棚下に置き、不織布で覆います。棚下にはブルーシートを掛けますが、これは保温というより日光による日中の温度上昇を防ぐためです。棚の上とシート内部では約5〜6℃温度が違います。
灌水は一ヶ月に一回。葉の表面が露でしっとり濡れていい感じですが、入れる前には殺菌剤でしっかり消毒をすることが肝心です。ただ、冬期間におもとを観られないのが欠点です。





仮称 「蘭丸」

三好会の故森文作さんが作出した羅紗獅子。生えてから3才位まではかなりのペラで作がかららず、でも葉肉はありそうだったので棚の隅で養生。殖木が富山の山村さんの御棚でびっくりするほど作上がり。でもその木はずでに無いようです。

徐々に葉が厚くなり巻きも力強くなってきた、覆輪もほぼ回ってきました。まだ本数は数本だけ。

何とか作上がりを期待して、デビューして欲しい品の一つです。

小林智道さん ご逝去

長野県支部の顧問、名作者の小林さんが昨年十月にお亡くなりになりました。九十四才でした。昨年の初夏頃まではお元気で自分で新車を運転して来園、当園の復興作業をお手伝いして頂いたこともあったのですが、夏頃から体調を崩され、ついに帰らぬ人となってしまいました。

支部長として、おもと協会の理事として永年尽くされ、全国の趣味者との交流も多く、また展示会においては金屏風の常連であり名作者としての貫禄も見せて仲間からの信望も厚い方でした。

心よりご冥福をお祈り致します。 合掌

なお、是非おもとを続けて欲しい、との遺言を受けてご子息の聖功さんがお勤めの傍ら残ったおもとの管理を続けられるそうです。

遺作の「天光冠」 有終の美を飾り見事 おもと協会会長賞を受賞されました。



被災のお手伝いに来て頂いた時のスナップ。「阿波日月の図」を買って頂きました。



見直したい名品

今となつては古い品種ですが、改めて見直すと中々味わいがあり、飽きが来なくて楽しめる品種が沢山あります。左の上は「春日錦」。三段折れともいいますが葉肉が厚く途中から折り下げる姿は格好いいです。下は「芙蓉錦」。「富国殿」を思わせる葉姿で覆輪が深く上品です。今は希少種かも知れませんが。



↑ 大熱の虎

悠がオークションで落札したものの。以前にもあったが芋痛みで枯死。もっと虎斑が鮮明なものを見たことがあるので日強に作り込むと結構楽しめるかも。

面白そうな珍品!

↓ 生之食性 3~4才

葉幅が10cmほどありふっくらと愛嬌があります。地味な縞柄に覆輪が見えているので、作り込むと思わぬ名品になるかも、と皮算用。作出は富山の百島さん。



使用済み鉢、古鉢 (ふるはち)

御棚整理のためたくさん入っています。未使用の鉢、かなり年季の入った鉢、布施鉢など。整理価格ですのでご相談ください。掘り出し物もあるかも。



卓上カレンダー

コンパクトで机の上に置ける当園のオリジナルカレンダーです。月ごとに入れ替えて12品種が楽しめます。ご来園の方には差し上げています。ご希望があればお電話ください。但し品切れの際はご容赦を。



園主独白

新型コロナウイルス感染症の収束が中々見えず困ったことです。幸い長野県ではピークアウトの兆しもありますが移動の自由がきかず、おいでになるお客様はめっきり減少、お店の駐車場はガラガラ、カンコー、カンコーと鳥が鳴いています。

商売の方はリスト販売、ネットショップ、また最近では国外からの引き合いもあり、息子が頑張っていますので何とか3度のメシは食っていけてます。

年寄りの私としてはこのままではボーンとした頭が益々惚けて、認知症の気配もたまに感じられます。ので以前出していた通信を再開してみました。不定期ですが当園の近況をお伝えしていきます。

ご希望の旨をご連絡頂ければ発行の都度お送り致します。ばけ防止の薬ですのでもちろん無料です。